

## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月10日

上場会社名 パス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3840 URL http://www.pathway.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中原 信一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 梶川 量由 TEL 03-6823-6664  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	772	△7.6	2	—	7	—	△8	—
2018年3月期第1四半期	836	0.6	△18	—	△17	—	△19	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 6百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 △7百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△0.31	—
2018年3月期第1四半期	△0.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	2,679	1,862	64.8	61.53
2018年3月期	2,808	1,856	62.2	61.83

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 1,737百万円 2018年3月期 1,746百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,247	△4.8	△17	—	△4	—	△34	—	△1.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	28,240,000株	2018年3月期	28,240,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	一株	2018年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	28,240,000株	2018年3月期1Q	19,731,339株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予測数値と異なる可能性もあります。尚、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、2018年3月29日に旅行事業を廃止したことにより前四半期連結累計期間に対し売上高は減少いたしました。当社の連結子会社である株式会社マドゥレクス及び株式会社ジヴェアスタジオが牽引している「通信販売事業」において、海外事業が順調に拡大していることや骨盤矯正用EMS、クレンジングの売れ行きが好調でありました。

これらの結果、売上高は772百万円（前年同四半期比63百万円減）、営業利益は2百万円（前年同四半期は18百万円の営業損失）、経常利益は7百万円（前年同四半期は17百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8百万円（前年同四半期比10百万円減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、当社グループの事業は単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円減少いたしました。これは主に売掛金が117百万円減少したことによるものです。固定資産は253百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産と無形固定資産が合計で10百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、2,679百万円となり、前連結会計年度末に比べ128百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は455百万円となり、前連結会計年度末に比べ128百万円減少いたしました。これは主に買掛金が101百万円減少したことによるものです。固定負債は362百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、817百万円となり、前連結会計年度末に比べ134百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が8百万円減少したものの、非支配株主持分が14百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は64.8%（前連結会計年度末は62.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年5月11日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,693,115	1,657,341
受取手形及び売掛金	323,092	205,560
商品及び製品	426,473	474,631
原材料及び貯蔵品	64,233	50,296
未収入金	4,831	1,496
その他	35,203	40,063
貸倒引当金	△3,482	△3,212
流動資産合計	2,543,466	2,426,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,433	37,433
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,637	△29,943
建物及び構築物（純額）	7,795	7,490
工具、器具及び備品	212,422	213,302
減価償却累計額及び減損損失累計額	△159,220	△164,596
工具、器具及び備品（純額）	53,201	48,706
有形固定資産合計	60,997	56,196
無形固定資産		
のれん	80,504	77,820
ソフトウェア	25,473	22,833
その他	8,251	8,242
無形固定資産合計	114,228	108,896
投資その他の資産		
敷金及び保証金	76,432	76,182
繰延税金資産	13,695	12,260
その他	13,080	12,814
貸倒引当金	△13,080	△12,564
投資その他の資産合計	90,127	88,692
固定資産合計	265,353	253,786
資産合計	2,808,820	2,679,963

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	299,289	197,750
未払金	206,076	225,935
前受金	4,677	—
未払法人税等	1,770	1,384
賞与引当金	20,258	8,718
返品調整引当金	8,052	4,001
その他	43,743	17,323
流動負債合計	583,869	455,113
固定負債		
債務保証損失引当金	367,866	361,924
その他	957	797
固定負債合計	368,824	362,721
負債合計	952,693	817,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,438,187	2,438,187
資本剰余金	2,478,308	2,478,308
利益剰余金	△3,170,274	△3,178,999
株主資本合計	1,746,220	1,737,495
非支配株主持分	109,906	124,632
純資産合計	1,856,126	1,862,128
負債純資産合計	2,808,820	2,679,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	836,379	772,513
売上原価	419,602	343,270
売上総利益	416,776	429,243
販売費及び一般管理費	435,125	427,120
営業利益又は営業損失(△)	△18,349	2,123
営業外収益		
為替差益	75	—
業務受託料	960	—
債務保証損失引当金戻入額	—	5,942
その他	497	80
営業外収益合計	1,532	6,023
営業外費用		
株式交付費	450	—
為替差損	—	211
その他	97	116
営業外費用合計	547	327
経常利益又は経常損失(△)	△17,363	7,818
特別利益		
新株予約権戻入益	5,019	—
債務保証損失引当金戻入額	5,479	—
特別利益合計	10,498	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,865	7,818
法人税、住民税及び事業税	780	382
法人税等調整額	—	1,434
法人税等合計	780	1,816
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,646	6,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,356	14,726
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,002	△8,724

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,646	6,001
四半期包括利益	△7,646	6,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,002	△8,724
非支配株主に係る四半期包括利益	11,356	14,726



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、Oakキャピタル株式会社の第9回新株予約権の行使により、2017年4月21日付で150,013千円、2017年6月23日付で30,002千円の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が90,578千円、資本準備金が90,578千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,894,849千円、資本準備金が1,897,851千円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティ ング事業	旅行事業	通信販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	—	70,578	765,801	836,379	—	836,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,299	—	1,299	△1,299	—
計	—	71,878	765,801	837,679	△1,299	836,379
セグメント利益又は損失 (△)	—	△3,851	32,922	29,071	△47,420	△18,349

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,420千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等  
あります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社グループは、「通信販売事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「コンサルティング事業」、「旅行事業」、「通信販売事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、「通信販売事業」の単一セグメントに変更しております。その理由としましては、「コンサルティング事業」は前連結会計年度及び当第1四半期連結累計期間において受注が無く、今後も収益及び費用の発生が見込まれなくなったこと、「旅行事業」は、パストラベル株式会社の全株式を2018年3月29日付で売却し、連結の範囲から除外したことによるものです。

3. その他

該当事項はありません。